

独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) が 注意を喚起するランサムウェア対策

セキュリティソフトを導入する

→ セキュリティソフトを導入し、定義ファイルを最新に保つことで、ランサムウェアの感染リスクを低減させることができます

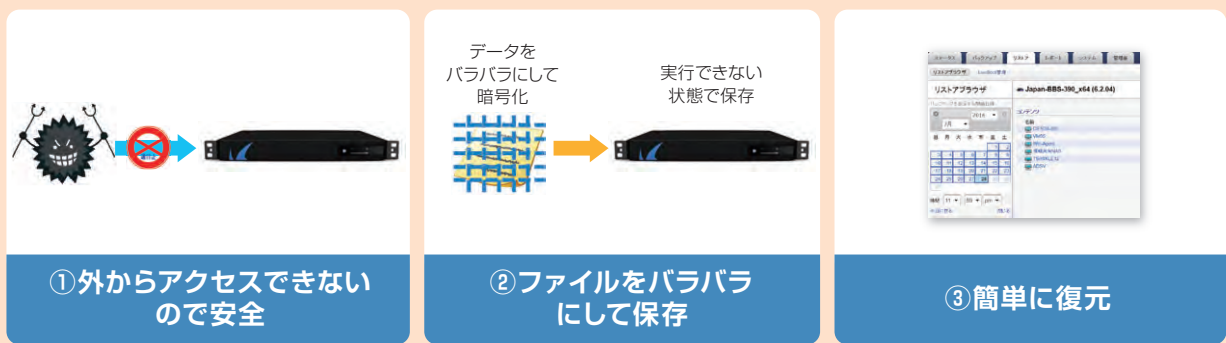
OSおよび利用ソフトウェアを最新の状態にする

→ OSおよびソフトウェアのバージョンを常に最新の状態に保ち、脆弱性をなくすことでドライブ・バイ・ダウンロードによる感染リスクを低減します

重要なファイルを定期的にバックアップする

→ 基本的にはランサムウェアによって暗号化されたファイルは復元できません。そのため、重要なファイルについては、定期的にバックアップする必要があります。

出典：IPA 技術本部 セキュリティセンター 第16-01-345号「2016年1月の呼びかけ」



万が一のためのバックアップに
もしもの事があったらどうしますか？

クラウド&アプライアンス

バラクーダで始めてみませんか、二重バックアップ

Barracuda Backup

バックアップの課題

- ・ 1カ所でのバックアップは災害時のリスクが高い！
- ・ 拠点に担当者がいないので管理が不安！
- ・ サーバ台数が増えるとコストがかさんでしまう



バックアップの課題は、
アプライアンスとクラウドを組み合わせた
「Barracuda Backup」で解消します。
そこで、バックアップソリューションの導入を検討している方に、
導入のポイントをご紹介します。

知っておきたいバックアップソリューション選びのポイント

Point. 1 ディザスタリカバリ対策に有効か？

Point. 2 管理・運用の手間はかかるか？

Point. 3 コストメリットはあるか？

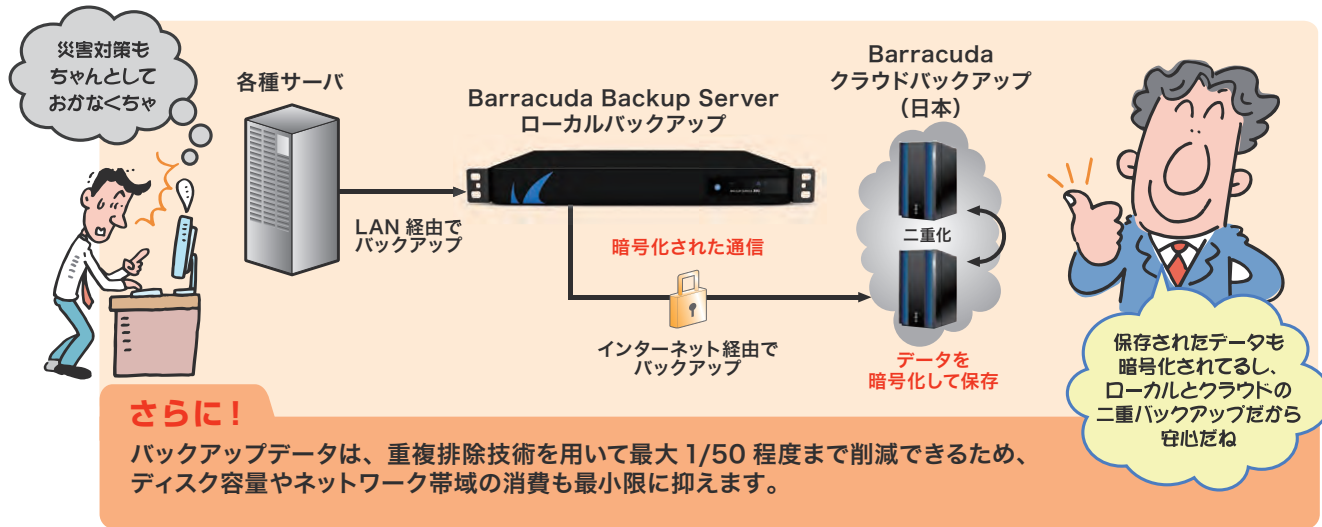
答えは次のページに

Point. 1

ディザスタリカバリ対策に有効か？

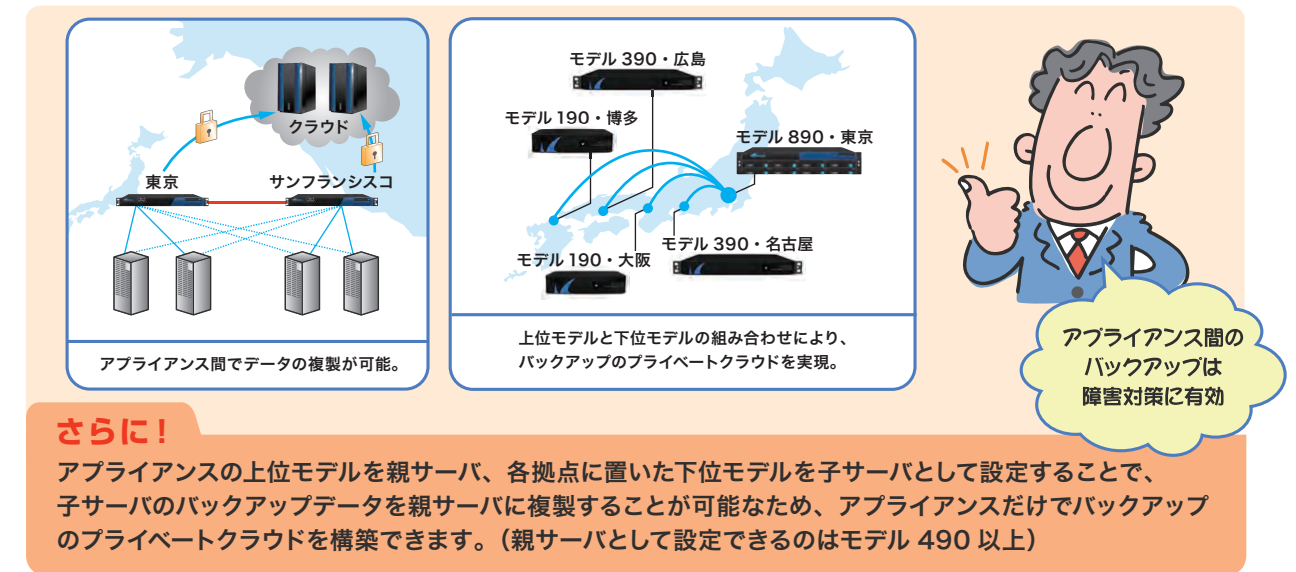
方法1 ローカルとクラウドの二重バックアップ

Barracuda Backup は、HDDを搭載したアプライアンス (Barracuda Backup Server) と日本にあるバラクーダのクラウドストレージに保存することができるハイブリッドソリューションです。システム障害時はアプライアンスから高速リストア、災害発生時は遠隔地のクラウドから復旧できます。



方法2 アプライアンス間でデータリプリケーション

複数のアプライアンス間でデータの同期ができる「Box to Box リプリケーション機能」は、ディザスタリカバリサイトを容易に構築することができるため、障害時の事業継続に有効です。クラウドバックアップとの併用で3重のバックアップも実現します。

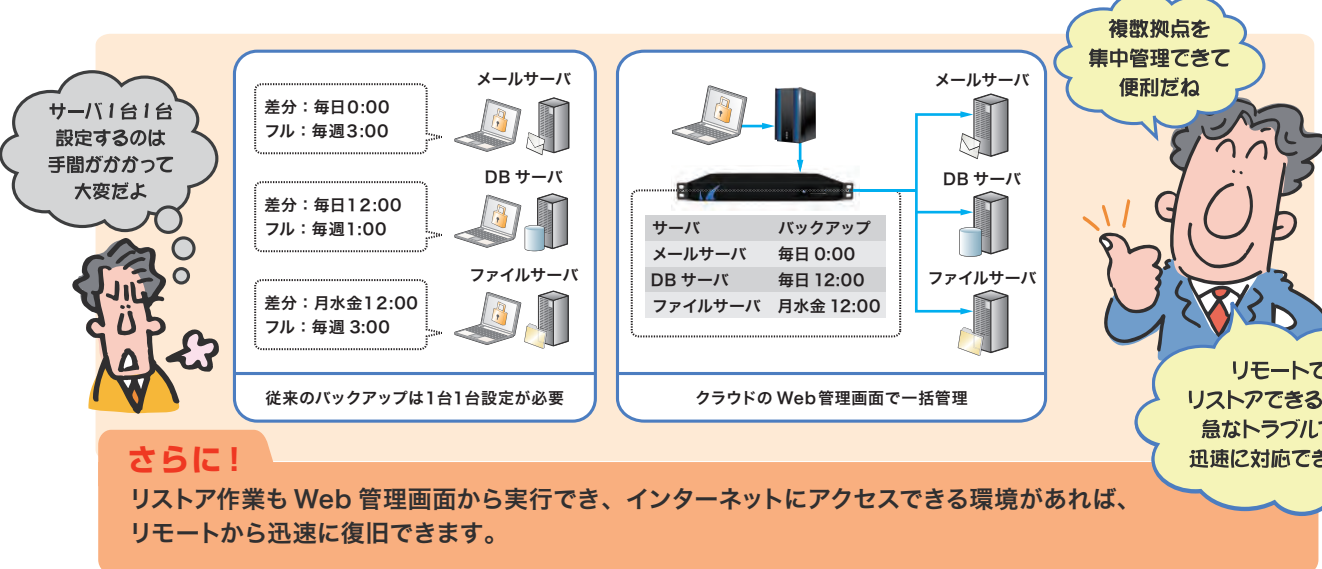


Point. 2

管理運用の手間にかかるか？

クラウドの Web 管理画面で一括管理

クラウドのWeb管理画面上でまとめて設定が出来るので、面倒な手間もかかりません。複数拠点にサーバが分散している場合でも、それぞれの管理者は不要です。



Point. 3

コストメリットはあるか？

エージェントライセンスが不要、低価格でディザスタリカバリサイトの利用ができる

OSやライセンス、保存先ストレージ費用、インストール作業が不要なため、従来のコストの約1/5程度に削減できます。また自前でDRサイトを構築するには、データセンターや専用回線などの用意など、大がかりなコストが発生しますが、クラウドストレージを利用することで低価格で手軽にディザスタリカバリ対策が実現できます。

